



Vol. 531 平成31年1月

NEWS



NPO 法人 横浜発明振興会

謹 賀 新 年

今 月 の 行 事

第 602 回 ハマ発明教室

と き 平成31年1月 13日 (日)

PM 1:00~4:30

ところ なか区民活動センター研修室

第一部 賀詞交換、ディスカッション

なか区民活動センター 研修室

(横浜市中区日本大通 35 中区役所別館)

第二部 新年懇親会 (午後2時半より)

「なごや香」 関内セルテ店

(JR 関内駅北口前 セルテ5階)

2 月 の ハマ発明教室 予告

と き 平成31年2月10日 (日)

PM 1:00~5:00

ところ なか区民活動センター研修室および

よこはま市民同オフィス

1. アイデア作品の発表とディスカッション
2. 発明研究会
3. おしらせ、その他

弁理士による発明相談が出来ます。

新年ご挨拶

NPO 法人横浜発明振興会
会長 寺嶋之朗

皆様、新年明けましておめでとうございます

皆様におかれましては すがすがしい新年をお迎えになつた事とお慶び申し上げます。

さて、昨年は米中貿易戦争の様相を反映して、年末にはニューヨークダウの下落に引きずられ日本でも株価の乱高下がありましたが、国内景気は7年間経済成長が持続しており、いざなぎ景気を超えました。株価が下がった企業も大部分は業績は好調で、日銀によると今年も緩やかな景気の持続が続くとの予想であります。

米中貿易戦争の真の原因は、貿易の不均衡ではなく技術の覇権争いにあるようです。通信やデータ、センサーやAI等、第4次産業革命の世界標準をめぐる熾烈な争いがなされているのでしよう。

昨年の明るい話題にノーベル生理学・医学賞に京都大学の本庶佑特別教授が選ばれた事がありました。今までとはまったくアプローチの異なる研究は、癌治療の方法を覆す結果を生みました。本庶特別教授は、ネイチャーやサイエンスに書いてある事の9割はうそだと言ひ、自分で確かめる事の重要性を言っております。

ノーベル賞ほど高度な事では無くても、日常生活の中で常識と思っている事でも違う角度から見たり、違う方法でやってみると新しい発想や発見が生まれ、発明ライフの一助となる事だと思ひます。

横浜発明振興会は昨年4月にNPO法人化致しました。NPO法人化しても現在のところ然したる変化は感じられないかもしれませんが、ハマ発明教室の1部については、質疑応答、アドバイスの記入等をするようにして参りました。また、発表作品のモニター販売を通して、実際に使用してのご意見、改良を加えられる機会を拡大して参りたいと思ひます。2部については、講話だけでなくワークショップなどを取り入れて、会員の皆様の要望にお応えできるよう理事会メンバーが試行錯誤しながら計画しているところがございますので、多くの御意見を頂戴いたしますようお願いいたします。ハマ発明教室外のNPO法人としての活動も理事会の中で、色々候補を挙げ検討中でございますので、実施の折には会員の皆様力が合わせて実行出来たら良いなと思っております。

今年には横浜でラグビーワールドカップの開催があり、来年は東京オリンピックが控えております。社会も色々変化して参るとは思ひますが、皆様の発明ライフがなお一層充実し、素晴らしい一年を過ごされます事を祈念致します。

=====**も く じ**=====

研究会・講演の案内 2

ハマ発明教室報告 2, 3

情報提供、お知らせ、..... 1, 3, 4

○1月のハマ発明教室のご案内

- 第一部 賀詞交換、ディスカッション
なか区民活動センター 研修室
- 第二部 新年懇親会 (午後2時半より)
関内駅北口前セルテ5階
「なごや香」開催いたします。
奮ってご参加をお願いいたします。
会費 4500 円(当日で可)

第 601 回ハマ発明教室(日曜発明教室)報告

青少年育成センター 研修室
横浜市中区住吉町 4-42-1 関内ホール地下二階
12月9日に開催しました。
出席者 28名

○第一部 第601回ハマ発明教室作品発表

作品名	発表者
①セーター/ベストⅡ	小林 芳人氏
②キャスター付き工具入れ	藤岡 治樹氏
③らくらくステッキ ハンドル	清水 悦子氏

○投票数票の結果、
次の方に賞が決まりました。

『最優秀賞』10票

③らくらくステッキ ハンドル	清水 悦子氏
-------------------	--------



この作品は、5年前、第4回ビジネス創造コンテスト(品川区)【一般枠】で奨励賞を受賞されました。

商品化も考えておられますとの事。

『奨励賞』

①セーター/ベストⅡ	小林 芳人氏
②キャスター付き工具入れ	藤岡 治樹氏

○ 第二部 発明研究会

「発明よろず情報交換会」Part2

前回(11/11)、「発明よろず情報交換会」での会員の要望に対する処置案の説明(幹事:加藤氏)と先願調査支援の説明、提案(支援メンバー:小林氏)の後に、全員による意見交換を行った。以下にその状況をまとめた。

1. 会員の要望に対する処置

①試作、特許調査支援:気軽に試作や先願特許調査を依頼できる環境の要望に対し、会員向けの作業依頼マニュアルや料金の検討を支援メンバーの意向を聞いて進める。また、特許調査支援では今回、ハマ発明支援メンバーの小林氏から説明、提案があった(後述する内容)。

②売り込み支援:売り込みに協力してくれる人材や売り込み支援展開に利用できる人的データベース化の要望に対し売り込みや商品化サポートの仕組み、当会会員の売り込み成功例と失敗例などを集めたデータベース作成の検討を進める。

③アイデア、商品化支援:失敗をなくして発明を成功させるための「売れるアイデア」、「よい商品とは何か」などの個人発明家の悩みや疑問に対し、参考となる情報の交換を進めていく。また、商品化支援として、モニターを会員関係者から募り意見をもらうというやり方がある。すでに一部の方が実施中。

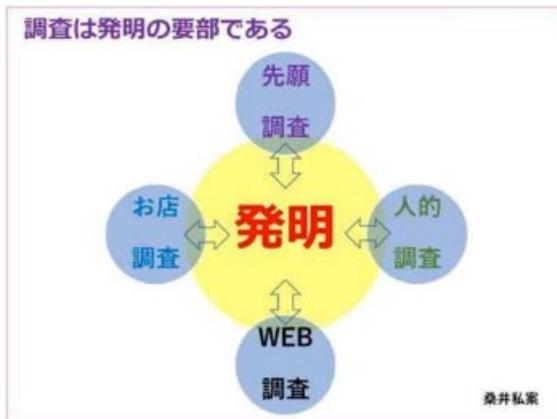
④金型検討支援関係:金型メーカーなどから金型の作り方、費用、営業上のアドバイスなどをもらうことに対し、県内数社に問い合わせたところ、各メーカーとも訪問アドバイスを断られた。しかし、ウェブや会社訪問で自由に相談ができる仕組みになっている。3D図があればウェブで費用見積が可能。

⑤発明関連の書物推奨:発明の参考書物を会員有志の方々に持ち寄っていただいて会場展示した(書物約20冊、他各種公的発明支援パンフレット類多数)

2. 先願特許調査(先行技術調査)支援

冒頭、幹事の桑井氏から特許調査の重要性について右図を用いて説明があった。

情報過多の昨今、特許調査は発明家にとり避けて通れない。逆説的に言っても決して過言ではないので「調査は発明の要部である」ことを常に肝に銘じてほしいとの事です。



続いて、ハマ発明支援メンバーであり、元IPCC 特任調査委員の小林氏から特許調査支援活動についての説明と提案があった。それは、①支援活動の目的と方法、②国内特許出願・審査状況、③特許費用（個人、弁理士）、④特許調査技能習得の奨励、⑤特許検索システム、⑥J-PlatPat を用いた検索方法および⑦具体的支援活動の提案（方法、料金など）、⑧先願調査依頼書、特許調査アンケートなどで。以上の中で、特許調査技能を習得することのメリットの説明が注目された。技能習得で、自分の考案レベルや改良点を明確にでき、そして1件目を個人出願できれば特許費用の面で弁理士を利用するより経済的な余裕が生まれる。そして、次の発明では弁理士を利用すれば、さらに次の発明を考える時間の余裕をつくれ、発明を成功するスパイラルが生れるとの説明であった。そのために、ハマ発明支援活動の互惠精神で、会員の発明成功を推進する特許調査支援内容として、料金の設定、調査技能者の育成や支援チームの創設などの提案があった。まず、試行的に先願調査の依頼を受付けて半年間の無償支援で様子を見て支援体制を構築するとのこと。そして、以上の説明などに対して全員で意見交換を行った。すでに外部組織（特許庁、中小企業センターなど）を利用されている会員からは、利用状況や感想など貴重な意見を伺うことができた。その結果、今後は先願調査支援の利用の推進と外部組織の利用を使い分けして迅速で精密な先願調査と効率の良い出願に尽力していただければ幸いです。

【お願い】

当日配布の「特許調査アンケート」を次回出席時に発明研究会事務局宛てに提出して下さい。

以上

第24回 文房具アイデアコンテスト



今回のテーマを「OPEN!」とし、文房具のアイデアを募集いたします。

OPENには、「開く」という意味だけでなく「展開する」「公開する」のように繋がりやはじまりの意味や、「見通しの良い」「隠し事のない」という自由で公正なイメージもあります。さあ、あなたもノートを開いて考えてみませんか？新しい時代を「ひらく」素敵な文房具アイデアをお待ちしています。

一般部門

テーマ「OPEN!」

対象 文房具

賞 グランプリ(1作品)賞金 100万円

優秀賞(5作品)賞金 10万円

審査員特別賞(5作品)賞金 5万円+副賞

サンスター文具賞(1作品)

賞金 5万円+副賞

応募資格 文房具に興味をお持ちの一般の方及び業界関係者

ジュニア部門

テーマ A. ペンケース・筆箱

B. 国語・算数・理科・社会・図工

C. 「OPEN!」で考えてみよう!

※A~Cの中から1つを選択

対象 文房具

賞 グランプリ(1作品)商品券 10万円+副賞

優秀賞(テーマ別3作品)商品券 5万円+副賞

佳作(5作品)商品券 3万円+副賞

応募資格 文房具に興味をお持ちの15歳(中学生)以下の方

第22回 身近なヒント発明展

全応募作品 820 点中、16 点の作品が
企業よりオファーが入っています。

○発明学会大賞 (1件)

「手持ちU型おろし器」M氏 (東京都在住)
日頃、大根おろしは欠かさず愛用されていて、
おろし作業が小さな不満であった事から開発の
テーマになったみたいです。
考案のポイントは、逆転の発想からおろし器を
動かし作業が軽減されていること、歯型溝、湾
曲した形状、両サイドの立ち上がりなどの工夫
がされています。
今回の試作品で協賛企業様からの商品化オファ
ーが入っていると事です。

○優秀賞 (5件)

「海苔クダッカー」 U氏 (埼玉県在住)
V字型をした本体の内側に三角形の歯を
形成しています。
※この試作品も協賛企業様から商品化オファ
ーが入っています。

「ささみのスジと〜る」 K氏 (香川県在住)
芯棒の先端に、輪形ワイヤーでスジを引っ
掛、中空棒先端の歯でささみの筋を身を崩
すことなく除去できる。
※この試作品も協賛企業様から商品化オファ
ーが入っています。

「2段開ジャンプ傘」 T氏 (栃木県在住)
ボタンを押すと全開はせず、半開きワンクッ
ションおくことで周囲に当たることなく安
全開ける。

「ホーバースライダー」 I氏 (福岡県在住)
ボードの下に4つのリング状の空気袋が固
定され、空気袋の内側側面には、穴が開いて
空気が出入りできるようになっています。
穴から空気がでる事で、本体が浮き、平坦な
面をすべるように進みます。

※この試作品も協賛企業様から商品化オファ
ーが入っています。

「折りたたみほうき」 T氏 (兵庫県在住の学生)
ほうきのブラシ部分を折りたたみ可能にし、
幅を変更できるようにすることで、溝などの
狭い場所も一本で履くことができます。
また、柄の角度を変えることで、デッキブラ
シとしても使用可能。

展示会情報

- 1) 第2回 国際雑貨 EXPO 春
雑貨・ファッション・インテリアから化粧品
幕張メッセ5～8、9、10、11ホール
事前登録 無料 入場料 5000円
- 2) 第23回 機械要素技術展
同時開催:ものづくり AI/IoT 展、次世代 3D プリ
ンタ展 2019年2月6日(水)～8日(金)
東京ビッグサイト東4～8、西1、2ホール
事前登録にて無料 入場料 5000円
- 3) 第87回東京インターナショナル
ギフト・ショー春2019
2019年2月12日(火)～15日(金)
東京ビッグサイト東、西 全館
事前登録にて無料
- 4) 第2回 [次世代] 介護テクノロジー展 【今
注目の 介護ロボットや、介護のための AI・IoT・
ICT などが集結！
東京ビッグサイト
2019年2月6日(水)～8日(金) 9:30～17:00
事前登録にて無料

○事務所だより

明けましておめでとうございます。
昨年NPO法人になりました当会にとって、今年
はNPOとしての活動を充実させて行く大事な年だ
と思います。皆で力を合わせ、知恵を出し合っ
て前進して参りたいと思います。
本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

・事務局担当

曜日	担当者	曜日	担当者
月	()	木	()
火	山岸 隆	金	()
水	石井 栄	土	小峰 一男

来訪の時は、電話にて駐在確認をお願いします。
FAXまたはメールも ご利用ください。
事務所 TEL/FAX: 045-664-9070